

参加者全員で「私達の宝物」を合唱しました！



教育委員会だより

益田市教育委員会より 平成26年4月17日発行

第1号

節目の年にあたって

教育長

村川 修

平成26年度は益田市にとつては、大きな節目の年になります。

旧美都町、旧匹見町との合併十周年の年であり、市の政策としては人口拡大計画初年度です。

教育委員会としては、教育ビジョンと社会教育推進計画を策定し、スタートの年です。

このような大きな節目の年には、直接携わる人はもちろんですが、市民全体が地域の一員としての立場から関心をもち、発言し行動することが大切です。

十年前に掲げた合併後の将来像に向かって、地域社会全体がどう取組み、どう変化してきたかを検証し、今後十年間をどう取組んでいくかを決める大きな節目です。

日本社会全体が都市と地方の二極化や少子高齢化、格差社会、価値観の多様化など過去にない大きな曲がり角にあるとも言えます。

こういう中で、それぞれの地域が子どもたちに対して、大切な「ひと・もの・こと」

をきちんと伝承していくことの大切さと、地域社会での人間関係の重要性がどれだけ地域の維持発展につながるかを益田市全体で自覚し、地域ごとに自主的に取組んでいくことが求められていると思います。

今「絆」の大切さが唱えられているのは、経済発展偏重の時代がそれだけ人間関係を疎かにし、現代社会の大きな課題を作ってきたとも言えます。

地域全体の発展を願うとき、人口が減少して各地域単独での自立が一層困難な現代では、旧美都町、旧匹見町と旧益田市の関わりや市街地と周辺地域の皆さんとの関係を改めて見つめなおし、それぞれの地域がお互いの魅力を認識し、支え合うことによりさらに益田市全体の

魅力を高めていく関係づくりが重要ではないでしょうか。次世代のためにも。

「絆」の心は幼児期からの環境により培われるものであり、人と人、地域と地域が支え合って発展させていく地域社会を子どもたちに見せ、参加させることが、地域に対する愛着や誇りに繋がっていくいき、「ふるさと意識」と「絆」の心も培っていくのではないのでしょうか。

その心が豊かな心を育て、目的意識を持って学ぶ力・生きる力を培い、地域の発展に繋がっていくのだと思います。

目次

表紙(学校紹介).....	1 P
教育長寄稿.....	2 P
教育情報.....	3 P
カラフル給食タイム.....	4 P
寄付、寄贈のお礼.....	

